



平成 29 年 4 月 21 日

各 位

会 社 名 サンデンホールディングス株式会社
代 表 者 代表取締役社長 神田 金栄
(コード番号 6444 東証第一部)
問合せ先 取締役経理本部長 梅村 信裕
TEL (03) 5209-3341

業績予想の修正、並びに営業外費用及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 3 月 9 日に公表した平成 29 年 3 月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 280,000	百万円 5,000	百万円 3,500	百万円 △10,800	円 銭 △78.19
今回修正予想(B)	281,000	1,500	△3,000	△23,000	△166.52
増減額(B-A)	1,000	△3,500	△6,500	△12,200	
増減率(%)	0.4%	△70.0%	-	-	
(ご参考)前年実績 (平成 28 年 3 月期)	294,237	5,494	6,138	6,965	50.43

(2) 修正の理由

売上高につきましては、国内における流通システム事業の販売が減少したものの、海外における自動車機器事業の販売が増加したことにより、ほぼ予想通りとなる見込みです。

営業利益につきましては、国内における流通システム事業の販売減少、海外における自動車機器事業の部品内製化投資の立上げ遅れ等、生産性改善に一部遅れが生じたため、営業利益は減少する見込みです。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記に加え、為替変動による影響、将来の事業成長に向けた抜本的構造改革の実施に伴う費用等の特別損失を計上する見込みとなりましたので、通期の業績予想を修正いたします。

2. 営業外費用及び特別損失の計上について

平成 29 年 3 月期の連結業績において、下記のとおり営業外費用及び特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

(1) 営業外費用(為替差損) 約 30 億円

当連結会計期間末で保有する外貨建資産・負債の為替評価替え等による為替差損の計上。

(2)特別損失

① 構造改革費用 約 76 億円

当第3四半期連結累計期間までに計上した早期割増退職金 19 億円に加え、拠点・組織の再編等による減損損失及び再編費用等の計上。

② 市場対策費用 約 34 億円

当第3四半期連結累計期間までに計上した 14 億円に加え、自動車機器事業における市場対策に関わる費用の計上。

【留意事項】

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

以上